

## 別紙

## 公開概要書

受付日	令和5年5月24日	回答日	令和5年6月9日	担当課	連携のまちづくり推進課
意見等の内容	<p>連休後半に新幹線と、山口線により郷里益田市に帰省をしたが、市の玄関口でもある益田駅の現状に驚きを禁じ得なかった。</p> <p>列車の本数が少ないので不便なことは勿論のこと、駅の構内は人気も殆ど無くガランとしている上に奥の方に在った店舗も閉店して倉庫となり、申し訳程度の小サイズの店だけである。</p> <p>また、トイレを利用しようとして、トイレトペーパーが設置されていないのに気付く、慌てて左斜め向かいの施設を利用したがお粗末感は否めなかった。</p> <p>帰りに改札口を通ろうとすると、つい直前まで居た筈の、3名位の駅員の姿は無く、カーテンが閉まっいて、勝手に通って呉れと言わんばかりで、びっくりの連続だった。</p> <p>有効な対処方法など簡単に見付かる筈もないが、郷里益田駅の寂れ方が、あまりにも酷いことを寂しく感じた。</p> <p>郷里益田市の発展を唯々祈るばかりである。</p>				
回答の内容	<p>JR 益田駅のトイレに関しましては、所有者である西日本旅客鉄道株式会社（以下、JR 西日本）の管理となり、益田駅構内のトイレには、利用者向けにトイレトペーパーを設置されていますが、駅構外のトイレは、公衆トイレ的であるとの認識から、トイレトペーパーは設置しないというのが管理者のご見解です。こうしたことから、改めて本市から設置に対しご要望を頂いた旨を JR 益田駅関係者へお伝えさせていただきます。</p> <p>次に益田駅の現状についてですが、ローカル線を取り巻く状況は、新型コロナウイルス感染症の影響や公共交通利用人口の減少に伴い厳しい状況が続いており、時間によっては、改札対応の駅員が不在となることもあるとのことで、かつての益田駅の様子とは変化しているものと思われます。</p> <p>市としましては、鉄道路線の利用促進を行うとともに、駅の利便性の向上に向けて JR 西日本に対して要望を行ってまいります。</p>				